

大会プログラム 3月19日(土)

【第1会場】(7号館小川講堂)

13:00~13:30 開会あいさつ

会長講演

臨床倫理と私

演者：三上 容司(第9回年次大会長)

座長：清水 幸裕(南砺市民病院)

13:40~15:10 シンポジウム1：組織や地域を超えた倫理的な相互支援のあり方について

座長：稲葉 一人(中京大学・学会副理事長)

三上 容司(横浜労災病院・第9回年次大会長)

S1-1 臨床倫理コンサルテーション事業が医療者のジレンマを支えるために

演者：松村 優子(京都市立病院)

S1-2 上級施設間 交流事業

演者：寺田 整司(岡山大学)

S1-3 倫理コンサルテーション立ち上げ後に見えてきた課題

演者：亀山 仁史(新潟市民病院)

S1-4 臨床倫理コンサルテーションチームの成長を支えるためのシステム構築の必要性

演者：スミス美保子(日本赤十字社医療センター)

15:20~16:50 シンポジウム2：胎児・新生児をめぐる臨床倫理

座長：川崎志保理(順天堂大学, 学会渉外担当理事)

S2-1 産科医からみた胎児診断の結果における臨床倫理的問題

演者：山本 祐華(順天堂大学)

S2-2 患児・ご両親の胎児・新生児期を振り返っての臨床倫理的課題

演者：北村 裕梨(順天堂大学)

S2-3 胎児期に動脈管血流管理を行った患児に対するエプスタイン奇形手術の経験

演者：中西 啓介(順天堂大学)

S2-4 胎児・新生児医療の倫理的課題

演者：加部 一彦(埼玉医科大学総合医療センター)

【第2会場】(第3教育棟・4階・401教室)

15:20~16:50 倫理コンサルテーション A

高齢患者における治療の代理意志決定をめぐる倫理的問題

オーガナイザー：稲葉 一人(中京大学)

司会：松村 優子(京都市立病院)

ファシリテーター：

永井智恵美(栃木県立がんセンター)

清水 恵(刈谷豊田総合病院)

鈴木さやか(刈谷豊田総合病院)

松本 幸絵(栃木県立がんセンター)

大会プログラム 3月20日(日)

【第1会場】(7号館小川講堂)

- 9:00~10:30 シンポジウム3: 新型コロナ禍の急性期医療現場における臨床倫理
座長: 稲葉 一人(中京大学・学会副理事長)
三上 容司(横浜労災病院・第9回年次大会長)
- S3-1 コロナ禍における選別を考える
演者: 吉池 昭一(相澤病院)
- S3-2 COVID-19患者対応に関する倫理指針は何をもたらしたか — 倫理
コンサルテーションチーム 看護師の立場から —
演者: 藤井 真樹(川崎市立多摩病院)
- S3-3 コロナ禍における倫理的な病院運営とは
演者: 森 一樹(京都市立京北病院)
- S3-4 医療介護従事者に対する偏見や差別的言動をめぐる課題
演者: 武藤 香織(東京大学医科学研究所)
- S3-5 医療管理下でないコロナ関連死
演者: 三和 護(日経BP)
- 10:40~12:10 シンポジウム4: 認知症や意思疎通が困難な人の新型コロナワクチン接種のため
の意思決定の手引き — 日本臨床倫理学会 ワーキンググ
ループの提言を踏まえて
座長: 箕岡 真子(東京大学大学院, 箕岡医院, 学会総務担当理事)
- S4-1 新型コロナウイルスのワクチン接種における意思決定支援
演者: 成本 迅(京都府立医科大学大学院)
- S4-2 医療・介護の現場を看護の立場で振り返ることで意義を考える
演者: 川崎ゆかり(京都認知症総合センタークリニック)
- S4-3 WG「手引き」作成の論点: 慢性期医療, 高齢者施設, 在宅の現場から
演者: 金沢 英哲(スワローウィッシュクリニック)
- 13:10~13:40 総会
- 13:50~14:20 教育講演1
今, がん診療で求められる整形外科の新たな役割
— 分かってきたロコモとがんの大事な関係 —
演者: 河野 博隆(帝京大学)
座長: 三上 容司(横浜労災病院・第9回年次大会長)
- 14:20~14:50 教育講演2
心不全パンデミックにおける臨床倫理
演者: 琴岡 憲彦(佐賀大学)
座長: 藤島 一郎(浜松市リハビリテーション病院)

- 15:00～16:30 シンポジウム5：在宅ケア現場における倫理的な声に気づくために
～隠された声に耳を傾ける～
座長：實金 栄(岡山県立大学)
松村 優子(京都市立病院)
S5-1 在宅、施設での認知症の行動・心理症状(BPSD)にみられる倫理的ジレンマ
演者：石津 秀樹(慈恵病院)
S5-2 医療介護連携における倫理～地域包括支援センターの立場から
演者：清水 直美(千葉市あんしんケアセンター磯辺)
S5-3 訪問看護師が現場で経験する倫理的ジレンマ
演者：中村 恵(AGO 株式会社みのり訪問看護ステーション)

【第2会場】(第3教育棟・4階・401教室)

- 10:40～12:10 倫理コンサルテーション B
リビング・ウィル(事前指示書)の提示はあるが、患者本人が意思表示できない状況において方針を決定する過程で難渋した事例
横浜労災病院 倫理コンサルテーションチーム
周藤 高, 中山 貴博, 藤本 潤一, 小泉 泰彦, 宇田 淳子,
行谷 貴美, 古都美智子, 大椋 裕美, 目黒 りう, 楠瀬まゆみ,
三上 容司
- 13:50～14:20 教育講演 3
臨床倫理と研究倫理の会うところ— COVID-19 と「実験的治療」の問題
演者：田代 志門(東北大学)
座長：板井孝彦(宮崎大学)
- 14:20～14:50 教育講演 4
医療 AI の「倫理」をどう考えるのか
演者：井上 悠輔(東京大学)
座長：竹下 啓(東海大学)
- 15:00～16:30 倫理コンサルテーション C
家族背景による代理意思決定への影響を考慮して倫理委員会で治療方法が決定された事例
大田 麻美(名古屋市立大学大学院)
澤田 美和(名古屋市立大学大学院)
明石 恵子(名古屋市立大学大学院)
稲葉 一人(中京大学)

一般演題：オンデマンド配信 ※期間3月19日(土)～4月19日(火)まで

一般演題1(O1) 倫理コンサルテーション1

- 01-1 A病院における倫理コンサルテーションチーム活動の現状
演者：小林 雅美(社会福祉法人聖霊会聖霊病院)
- 01-2 当院における倫理コンサルテーションの取り組み
演者：端 裕之(大阪赤十字病院)
- 01-3 当院における臨床倫理コンサルテーションの取り組み
演者：中山 照雄(国立国際医療研究センター病院)
- 01-4 倫理コンサルテーションチーム活動報告
演者：井上 和代(高知赤十字病院)
- 01-5 伊勢赤十字病院の倫理コンサルテーション事例のその後の経過と依頼者の感想やその波及効果
演者：山川 徹(伊勢赤十字病院)
- 01-6 臨床倫理コンサルテーションチームの立ち上げから1年の間に対応した症例の傾向とチームによる助言内容の分析
演者：友田 安政(横浜市立大学附属病院)

一般演題2(O2) 倫理コンサルテーション2

- 02-1 地域におけるオンラインによる倫理カンファレンスの効果についての検討
演者：渡邊 裕子(SOMPO ケア そんぼの家 調布多摩川)
- 02-2 地域臨床倫理カンファレンスの現状と課題 — 神奈川臨床倫理カンファレンス —
演者：金城謙太郎(帝京大学)
- 02-3 地域で育む倫理コンサルテーション活動の場づくりとメンバーの成長
演者：小畑亜由美(公益社団法人 調布市医師会訪問看護ステーション)
- 02-4 岡山県における地域での臨床倫理コンサルテーションの現状と課題
演者：北口 浩史(倉敷中央病院)

一般演題3(O3) 倫理コンサルテーション3

- 03-1 障害者総合医療療育施設における協働意思決定への取り組み
演者：望月 葉子(東京都立北療育医療センター)
- 03-2 臨床倫理コンサルテーションにおいて倫理支援を行うメンバーに求められるコンピテンシー
演者：三浦由佳里(宮崎大学医学部附属病院 臨床倫理部)
- 03-3 医学的、社会的に非合理的な患者の意向を尊重することへの葛藤 — 臨床倫理コンサルテーションに期待される役割 —
演者：山澤 明子(調布東山病院)

03-4 中小病院の入退院支援における倫理的課題の抽出

演者：永澤 彩加(調布東山病院)

03-5 未治療の精神病を抱える身体疾患合併症患者の倫理コンサルテーションの一事例 — QOLに配慮した意思決定のための支援 —

演者：小林いつか(国家公務員共済組合連合会 立川病院)

一般演題 4(O4) アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 1

04-1 A県内における中小規模病院の看護師のAdvance Care Planning：ACP支援行動の実際と影響要因

演者：橋本 容子(福井大学)

04-2 A県内における介護保険施設の看護師のAdvance Care Planning：ACP支援の実際と影響要因

演者：橋本 容子(福井大学)

04-3 人生の最終段階に対する認識と準備状況の明確化 — ACPアンケート調査を通して —

演者：斎藤加代子(医療法人社団東山会 桜ヶ丘東山クリニック)

04-4 アドバンス・ケア・プランニングの啓発を目的としたドラマを作成して — ドラマ“今日からはじまる人生会議” —

演者：野原 良子(南砺市民病院)

04-5 地域住民に向けたアドバンス・ケア・プランニング普及啓発活動モデルの構築

演者：大貫 優子(東海大学)

一般演題 5(O5) アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 2

05-1 当院 ACP 推進チームの活動報告

演者：一美奈緒子(熊本大学病院)

05-2 脳卒中連携手帳を利用したアドバンス・ケア・プランニングの取り組み

演者：宮 史卓(伊勢赤十字病院)

05-3 糖尿病患者に対するアドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の行動意図とその影響要因の明確化

演者：牧野富美枝(JCHO 福井勝山総合病院)

05-4 急な心停止に至ったALS患者の蘇生に関する臨床倫理的検討

演者：吉田真由帆(岐阜大学)

一般演題 6(O6) 倫理教育・啓発 1

06-1 急性期病院における看護師への倫理教育 — 倫理的感受性を育む5年間の取り組みと成果 —

演者：角 智美(茨城県立中央病院)

06-2 緊急倫理コンサルテーション事例から得られる倫理教育と指針策定のニーズ

演者：恋水 諄源(近江八幡市立総合医療センター)

06-3 薬剤師の臨床における倫理的ジレンマと行動倫理学の教育的意義に関する考察

演者：吉長 正紘(近畿大学病院)

- 06-4 オンライン会議システムを使用した倫理研修について
演者：久田 敦史(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)
- 06-5 院内倫理アドバイザー活動の現状と課題
演者：裏田 将志(南砺市民病院)

一般演題 7(O7) 倫理教育・啓発 2

- 07-1 臨床看護師の倫理的感受性の属性別・対応別による評価の類似性
演者：加藤由希子(松江赤十字病院)
- 07-2 DPC 特定病院の看護部倫理委員会におけるがん看護専門看護師の活動
演者：佐藤 香奈(社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院)
- 07-3 A 企業団に勤務する職員のミトンや抑制帯による身体拘束に対する意識調査
演者：高橋 真美(公立富岡総合病院)
- 07-4 「椅子に両手を縛られる」という身体拘束疑似体験を用いた集合研修について
演者：大熊 るり(調布東山病院)
- 07-5 医療現場における患者・家族からの暴力についての“報告”に関する文献調査
演者：武 ユカリ(関西医科大学)
- 07-6 入院治療や検査の拒否(選択の自由)の院内対応
演者：出森 智子(社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院)

一般演題 8(O8) 在宅医療・ケア

- 08-1 地域で医療・ケアに携わる専門職が直面している倫理的問題
演者：長尾 式子(北里大学)
- 08-2 在宅医療・ケアに従事する医師と看護師はどのような倫理支援を求めているか
演者：竹下 啓(東海大学)
- 08-3 在宅医療・ケアに関わる専門職は「尊厳」をどのように理解しているのか
演者：堂園 俊彦(静岡大学)
- 08-4 在宅で鎮静を行った小児がん症例に対する倫理的検討
演者：山本 千明(市立福知山市民病院)
- 08-5 自宅復帰を強く希望する顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー患者に対する支援
演者：岡本 圭史(浜松市リハビリテーション病院)

一般演題 9(O9) 終末期・人生の最終段階

- 09-1 重度うつ病を合併した子宮体癌患者に対する多職種連携による治療計画と意思決定支援
— 抗がん剤治療及び電気けいれん療法にて QOL が改善した事例 —
演者：齋藤 朝子(山形大学医学部附属病院)
- 09-2 情動的意思表出の自律性について
演者：清水 幸裕(南砺市民病院)
- 09-3 緩和ケア病棟におけるインシデントの発生要因と課題
演者：山田 恵子(タムス浦安病院)

- 09-4 末期心不全患者と家族への意思決定支援
演者：鈴木美由紀(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)
- 09-5 ステージ D 心不全患者への看護師の End of Life Discussion の実践実態
演者：實金 栄(岡山県立大学)
- 09-6 手稲溪仁会病院における終末期状態にある患者への心肺蘇生術を行わない(DNAR)指示に関する指針策定後の実態調査
演者：伊藤 聖美(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院)

一般演題 10(O10) 新型コロナ, 認知症, せん妄

- 010-1 COVID-19 重症患者家族を支援した看護師に対する専門看護師の倫理調整
演者：山崎友香子(信州大学医学部附属病院)
- 010-2 コロナ禍の臨床倫理コンサルテーションへの影響
演者：加藤 亙(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)
- 010-3 臨床倫理コンサルテーションチーム活動に求められる役割と今後の課題 — COVID-19 を発症した身寄りが無い患者の関係者による倫理的合意形成を行ったケースを振り返って —
演者：濱田かおり(公立福生病院)
- 010-4 透析治療を拒否する高齢認知症患者への援助, 今後の方針の統一を図って
演者：藤尾由貴恵(倉敷医療生活協同組合 総合病院水島協同病院)
- 010-5 せん妄患者に対する経管栄養導入における倫理的葛藤
演者：柏 潤耶(社会医療法人石川記念会 HITO 病院)

一般演題 11(O11) 小児・周産期医療, 遺伝情報

- 011-1 6歳未満児の脳死下臓器提供における意思決定プロセス — 子どもの権利, 家族の想い, 医療者の社会的役割 —
演者：西嶋志津江(あいち小児保健医療総合センター)
- 011-2 無介助出産を希望する夫婦との関わりを通して助産師が経験した倫理的課題
演者：山本加奈子(津山中央病院)
- 011-3 日本の医療現場における遺伝情報管理についての一考察
演者：鈴木みづほ(東海大学)